

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)  
【単独・連携事業】

市町名	下野市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	天平の桜歌会	総事業費	878,477	1,000,000	1,200,000	880,000	880,000	4,838,477
		うち市町支出額	878,477	1,000,000	1,200,000	880,000	880,000	4,838,477
		うち県交付金	436,808	500,000	600,000			1,536,808
2		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	878,477	1,000,000	1,200,000	880,000	880,000	4,838,477
		うち市町支出額	878,477	1,000,000	1,200,000	880,000	880,000	4,838,477
		うち県交付金	436,808	500,000	600,000	0	0	1,536,808

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	天平の桜歌会
事業主体の名称	下野市文化協会 内 天平の桜歌会実行委員会
代表者の名称	中川 賢一
事業主体の所在	下野市笹原26番地
事業主体の概要	・団体の目的:天平の桜歌会の開催・事業の具体的な推進を図る。 ・設立年月日:令和3年6月1日 ・構成員等:下野市文化協会 役員
当該事業に係る地域の現状と課題	下野市では、文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等の分野に横断的に活用し地域課題の解決に取り組む事業がなかった。本年、3月に建立された、皇位継承の「大饗の儀」に詠進された、本市の桜風景である「天平の丘」の風俗歌の記念碑を皮切りに、文化の薫る、国分寺跡・国分寺尼寺跡地の史跡公園である天平の丘公園で、地域に根ざす文化創造の事業を展開する。
事業目的	「観光」、「まちづくり」、「教育」、「産業」、その他の各分野における施策とシンクロしつつ、シナジー効果を高め、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典とする。伝統芸能や文学・音楽・美術などの各種芸術などの文化等の活動を発表・共演・交流する場を提供するとともに、文化により生み出される様々な価値を文化の継承、発展及び創造に活用し、事業展開する。出会いの文化ムーブメントとして実施する。
事業概要	【令和3年度】 歌碑建立をきっかけに、文化に親しみ文化の高まりを目指し、天平の丘公園に定着するイベントを創設。 以下の事業を3月20日(土)に開催した。 ①呈茶席での来場者のおもてなし、琴の演奏による心に触れる音のおもてなし、舞踊での目で楽しめるおもてなしを実施。 ②防人街道を歩き万葉歌碑や伝紫式部の墓・基などそれぞれの時代に想いを馳せ、俳句等を詠みながら(投句(歌)箱に投函)平地林や国分寺跡を散策(周遊)。 ③合唱、吟詠、オーケストラによる淡墨桜歌の発表の場とした。 ④今、お茶の間で話題のプレバトを、司会に永井壘(輝け☆下野エール大使)を招致しプレバト風な評価をして来場者等を楽しませた。 ⑤現代短歌講演会(篠 弘先生) ⑥短歌ワークショップ『読む時間』短歌の読み方、楽しみ方を探る。好きな短歌を持ち寄った。 ⑦短歌ワークショップ『詠む時間』短歌を詠む(作る)際のアドバイスやコツを教えてください。自作の短歌を持ち込んだ。  【令和4年度】 歌碑建立をきっかけに、文化に親しみ文化の高まりを目指し、天平の丘公園に定着するイベントを創設する。 ①呈茶席での来場者のおもてなし、琴の演奏による心に触れる音のおもてなし、舞踊での目で楽しめるおもてなしをする。 ②防人街道を歩き万葉歌碑や伝紫式部の墓・基などそれぞれの時代に想いを馳せ、俳句等を詠みながら(投句(歌)箱に投函)平地林や国分寺跡を散策(周遊)する。 ③天平の丘公園内、基壇に通年を通した投句(歌)箱の設置や市民等から短歌・俳句・詩などを募集した歌会の開催する。 ④合唱、吟詠、オーケストラによる淡墨桜歌の発表の場とする。 ⑤今、お茶の間で話題のプレバトを、司会に永井壘(輝け☆下野エール大使)を招致しプレバト風な評価をして来場者等を楽しませる。 ⑥天平の丘公園内、基壇に通年を通した投句(歌)箱の設置や市民等から短歌・俳句・詩などを募集した歌会の開催する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標④「安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 数値目標「幸せだと感じている市民の割合」 基準値77.0%→目標値80.0% 「住みやすいと感じている市民の割合」 基準値86.7%→目標値90.0% KPI「下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館入館者数」 基準値30,500人→目標値32,000人 「下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館ボランティア会員数」基準値75人→85人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	3年度	4年度	5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	歌碑建立をきっかけに、文化に親しみ文化の高まりを目指し、天平の丘公園に定着する各種イベントを実施する。	歌碑建立をきっかけに、文化に親しみ文化の高まりを目指し、天平の丘公園に定着する各種イベントを実施する。	歌碑建立をきっかけに、文化に親しみ文化の高まりを目指し、天平の丘公園に定着する各種イベントを実施する。		歌碑建立をきっかけに、文化に親しみ文化の高まりを目指し、天平の丘公園に定着する各種イベントを実施する。
事業費	878,477	1,000,000	1,200,000	3,078,477	880,000
市町支出金(ソフト事業分)	878,477	1,000,000	1,200,000	3,078,477	880,000
うち県交付金	432,800	500,000	600,000	1,532,800	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習文化課 文化振興グループ
担当者名	近藤 隆博
連絡先	電話 0285-32-8619
	FAX 0285-32-8610
	E-mail syougaigakusyuuuunka@city.shimotsuke.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	天平の桜歌会	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	878,477	
計	878,477	

## 2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	420,000	420,000	210,000	0	出演団体、個人 謝金
消耗品	119,117	119,117	55,550	0	御集印作成用紙 御集印帳 お茶席
印刷製本費	50,000	50,000	25,000	0	開催周知チラシ
食糧費	4,860	4,860	0	0	お茶代
委託料	280,550	280,550	140,275	0	音響100,000円 印作成 50,000円 演出部材作成料 30,000円 司会及びイベント構成 100,550円
保険料	3,950	3,950	1,975	0	イベント保険
				0	
計	878,477	878,477	432,800	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合